

自己評価表からの改善案

評価期間 2025年4月～2026年3月

殿田 美紀子

保護者への説明等

④事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。

事業所では事業所内でイベントを行うことがあるが、地域住民を招待することはなかった。今後検討していく。

環境体制整備

③生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備などは、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。

支援別に区切りはあるが見渡しが良い空間にしている。

当事業所が建物の2階にあるため、その上り下りや車の乗り降りの際に、足の筋力が弱い児童にとって階段にはスロープがあり、車にも手すりがあるため、本人の足の筋力アップを目指して支援している。そのことを職員間の共通認識として周知している。

④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。またこどもたちの活動に合わせた空間となっているか。

毎日、毎週、毎月などチェック項目のある表を作り、清掃をしている

業務改善

⑥用務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

月1回で行っている

環境体制整備

⑩支援開始前に職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について認識し、チームで連携して支援を行っているか。

毎日行っている

環境体制整備

④事前に、服用や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。

④食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づいて対応がされているか。

発作時のマニュアル作成・研修を行っている